

心身ともに健康的に！

北河原堂の花祭り



昔から寺院では四月八日に、「花御堂」と呼ばれる花で飾った小さなお堂に、仏教を開いたお釈迦さまが生まれた時の姿をあらわす誕生仏をお祀りし、甘茶を漉いで供養します。これはお釈迦さまが誕生したときに、竜神が甘露の雨を産湯として降らせたことになぞらえており、漉仏会、お花まつりなどと呼ばれています。

「堂」の名で親しまれている北河原堂では、月遅れということで五月七日に漉仏会が行われました。「花祭り」一あま茶祭り」とも呼ばれているこの行事では、近隣の方が集まり無病息災や五穀豊穡を願うお祈りを奉げて、右手で天を指し左手で地を指した誕生仏に甘茶を漉ぎます。お勤めが終わると、参拝者に甘茶がふるまわれました。甘茶を頂いた感想は、思った以上に甘い！こんなに甘いのお砂糖を使っていないなんて本当に不思議です。ご年配の方の話では、昔は甘いものが貴重だったので、花祭りには老若男女問わずやかんを持参して大勢集まり、その甘味を楽しんだとのこと。今では甘いものは容易に入手できる中、むしろダイエットの為に甘さを控える時代ですが、ノンカフェインでカロリーもほとんどゼロの甘茶は美容や健康にその効果が期待できるそうです。普段は口にする事の少ない天然の甘味を口にして、身も心も清められた気がしました。

この堂のお祭りが、内田の本格的な農作業が始まる時期を知らせる農事暦ともなっています。今年は五月晴れとはいかず、あいにくの空模様の中での開催となりましたが、農作物にとっては雨も必要です。今年も風雨順時で豊作となることを願い、堂を後にしました。

第一町会 近藤 栄祐

子どもまつり中止

今年度の育成会活動の初回に計画していた、松本市子どもまつりへのササラ踊りの参加が悪天候のため中止となりました。当日一度は開催が決まったものの、突然の雨により断念する結果となりました。送迎用のマイクロボスも動き出していたが、途中から戻ってもらうこととなりました。

二月よりまつりの準備が始まり、ササラ踊り実行会の皆さんと調整しながら練習も行ってきただけに残念でならない。内田伝統の踊りは、小学生時代より身近にあり、盆踊り、運動会、文化祭等、踊



る機会も多く、参加いただく人数も非常に多い。それだけ地域に根づいている。子どもまつりへの参加も、松本市の皆さんに内田の子ども達がどれほど地域に溶け込んで踊りを伝えようとしているか知っていたらという思いからだ。

育成会行事もこれからいくつか計画しているが、最近の子ども達は個別の活動に忙しく参加人数が減ってきている。毎年新しく担当する育成会役員も、いろいろな楽しい思い出を作れるよう頑張っていることを理解いただき協力をお願いいたします。

内田子ども会育成会
丸山 剛徳

つれづれ編集記

今年も入学、入社と新生活が始まる季節となりました。今年は天候もよく、桜咲く季節感たっぷりのシチュエーションの中、それぞれの新しい生活が始まったのではないのでしょうか。

昨年の今頃、館報編集委員をお受けし務めさせていただいております。一年を振り返り、おかげさまであります。表現や言葉、文字の使い方の大切さを改めて感じさせていただきました。

日頃無意識の中、パソコンで文章を作成し、言葉も漢字も何となく使ってきました。普段使っている漢字が読めてもいざ書くとなると書けない(最近多くなった物忘れのせいもあるかもしれませんが)。「」は「」は改行は???送り返名はいいのかな。

職場や身近なところにパソコンが普及し久しくなりましたが、日々忙しさにまかして字を書かない、ものを読まない生活に、慣れてしまった今日この頃、折角良い機会を与えていただき、もう一年勉強させていただきます。

第七町会 増塩 信俊